

# 第19回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

## 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール 実施要項

### 1. 趣旨・目的

- ・「ものづくり」の発表を通して、知識や技能を習得し、活用することによりものをつくることや活用の喜びを味わう機会とする。
- ・技術・家庭科で習得した知識や技能を生かした被服作品等の設計、製作を通して、ものをつくる喜びや仲間と競技をする喜びを味わう機会とする。また、発表の場を通して、他校生徒との交流を図り、合わせて知識や技能の向上を図る機会とする。
- ・自分や家族の生活をより豊かにするために、個性や工夫を生かした製作の目的を明確にすることにより、製作や活用の喜びを味わう機会とする。
- ・製作を通して、ものを大切にすることの大切さや達成感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感する機会とする。

2. 開催日 平成31年1月26日(土) 受付9:00

3. 会場 葛飾区水元総合スポーツセンター体育館 第2武道場(剣道場)  
〒125-0032 東京都葛飾区水元1-23-1  
TEL 03-3609-8182  
・京成バス(金62)金町駅北口-西水元3丁目(一部大場川水門)  
「中央公園」または「ふれあいの家」下車3分  
・東武バスセントラル(有26・27)亀有駅北口-西水元循環(一部葛飾車庫止)

### 4. 日程

平成31年1月25日(金) 10:00~16:00  
10:00~ スタッフ集合・打ち合わせ 会場づくり

平成31年1月26日(土) 9:00~16:30  
9:00~ 9:10 受付  
9:20~ 9:30 開会式  
9:40~10:10 ミシンオリエンテーション, ミシン糸調節, 試し縫い等, 競技準備  
10:20~11:50 午前競技 <90分>  
11:50~12:50 昼食  
12:50~13:50 午後競技① <60分>  
13:50~14:00 休憩(10分間)  
14:00~15:00 午後競技② <60分>  
15:00~15:30 作品発表会準備, 会場片づけ  
15:30~16:30 作品発表会, 講評, 個人写真撮影, 集合写真撮影  
16:40 作品提出, 出場生徒解散  
16:40~18:30 審査

平成31年1月27日(日) 9:00~14:30  
9:30~10:30 部門結果発表, 表彰  
12:00~13:30 全体閉会式

※日程の詳細については、全国大会参加生徒決定後に、各自に連絡する。

5. 選抜方法 以下A・B方式のいずれかを選択する。

- A方式 ブロック大会において選抜され、ブロック中学校技術・家庭科研究会会長の推薦を受けた者に参加資格がある。当実施要項がA方式の実施要項を兼ねる。
- B方式 ブロック大会が実施されないブロックの49都道府県市にのみ、応募資格がある。49都道府県市の予選にて、優秀な成績を収めた生徒を最大2名まで選抜し、B方式全国大会予選に応募する。B方式全国大会予選審査の結果、アイデアバッグ事務局より推薦を受けた者に参加資格がある。

※B方式については、別様式のB方式実施要項にしたがい選抜を実施する。

◎なお、A・B方式の選抜の後、それでも欠員が生じた場合には、参加生徒の再割り当てを行う。再割り当ての優先順位については、「8参加生徒再割り当て」参照。

6. 費用 参加料は徴収する（1人2000円）  
材料は各自で用意する（2000円程度）

7. 参加人数 16人

北海道	東北	関東 甲信越	東海 北陸	近畿	中国 四国	九州	開催地枠 東京都	運営県枠 山梨長野	合計
2	2	2	2	2	2	2	1	1	16人

8. 参加生徒再割り当て  
上記「7選抜方法」にて選抜を行い、尚かつ欠員が生じた場合にのみ参加生徒の再割り当てを行う。再割り当ての優先順位は、昨年度の当競技全国大会における競技実績を参考にする。

再割り当ての優先順位	
1 東海北陸	2 九州
3 中国四国	4 関東甲信越
※開催地枠および運営県枠に再割り当ては適用しない。 ※北海道ブロック、東北ブロック、近畿ブロックは、昨年度の実績なし	

9. 競技の課題および課題製作上の注意点について

- ①課題は、『バッグ』とする。
- ②使用する布の合計面積は110cm×50～100cmとする。使用する布は、複数種類使ってもよい。古着を布として利用することは可能だが、古着についているポケットやファスナー、ボタン等の部分をそのまま利用することは認めない。
- ③『バッグ』について。
  - ・裏地は付けず、一重仕立てとする。（縫い目審査を行うため。）
  - ・立体構成にする。
  - ・『バッグ』の口がふさがるようにする。（中身のでない工夫をする）
- ④デザインの工夫は『バッグ』本体とする。
  - ・裁断後の残布の量をできるだけ少なくする工夫を入れる。布目方向は丈夫さなどを考慮する。（布目方向が異なるパーツもあってよい）
  - ・入れるものの使用目的に合わせた布選びや、強度が耐えうる縫い目および縫い代の始末をする。
- ⑤ポケットは必ず『バッグ』本体に付ける。  
（ポケットのうち必ず1つは、ポケット口を三つ折りにし、手でまつり縫いをする）  
※貼り付けポケットを必ず一つつけること。
- ⑥スナップは1つ以上付ける。（ボタンを付けることは可能）
- ⑦型紙の作成は事前に行い、当日の競技は『布を整え、型紙の配置』から始めることができるようにする。（しわになりやすい布を利用する場合は持ち運び方を工夫する。当日になのアイロンがけが必要な場合は、競技時間の中で行う。）
- ⑧『バッグ』に付ける装飾品は事前に製作してくることは認めない。  
（競技時間内で製作する）
- ⑨当日製作した『バッグ』を使い、実際に入れるものを用いて2分程度の発表会を行う。  
その際に利用方法とものづくりの視点についてスピーチする。（掲示物を利用する場合は模造紙1枚程度とする。※ただし掲示物は評価対象ではない。）
- ⑩競技時間は3時間30分とし、時間内に完成させる。
- ⑪材料費は、2000円程度とする。
- ⑫製作レポートは規定の用紙を用いることとし、必ず手書きをして、A3カラー印刷（片面）10枚提出する。（提出したレポートは審査員により事前に審査を行う）

10. 審査項目

	評価項目	説明
準備	型紙の配置	布目が整い、布地にムダが出ないように配置をしているか。 (布目方向が異なることがあるが、布の使い方を工夫し、裁断後の残布の量をできるだけ少なくしているか。)
	裁断の仕方	裁ち目がきれいにそろって裁断されているか。
	しるし付け	布地にあった方法で、正確に印が付いているか。 角や合い印の付け方がわかっているか。
本縫い	縫い代の量	縫い代が適量であるか。 (縫い代の始末による多少の違いはあっても、多すぎたり少なすぎたりしていないか。)
	しつけ及びまち針	本縫いに役立つしつけ又は、まち針が適切にできているか。
	課題の縫製	【ミシン縫い】 袋の使用目的に合わせて、強度が耐えうる縫い目及び縫い代の始末等ができているか。 ポケットが本体にしっかり付けられているか。  【手縫い】 ポケット口を三つ折りにし、まつり縫いをしているか。 スナップを1つ以上付けているか。(ボタン付けも可)
	縫い方の工夫	縫う手順に不都合やミスがなく、能率的に正しく縫うことができているか。
技能	ミシンの操作	ミシンの基本的な操作が身に付いているか。
	アイロンの使い方	布に折り目をつけるために、適度な湿り気を与え、布にあった温度で使用しているか
	安全な作業	針やはさみの扱い、ミシンの操作、アイロンかけなどの作業を安全に行っているか。 糸くずなどの処理ができているか。
発表	使い方の工夫	実際に入れるものを使い、テーマで意図したことが、具体的に作品上に表現されているか。 「私にとってのものづくり」についてのメッセージが入っているか。
その他	完成	時間内に完成できたか。
	デザイン	デザインが使用目的に合っていて、活用に耐えうるものであるか。(バッグの口をふさぎ、中身のでない工夫があるか) 作品にアイデアや工夫が生かされているか。
	レポート	「テーマ」、「構想」、「(私の)豊かさの視点」、「私にとってのものづくり」が、具体的に表現されているかがともしはつきりしていて、工夫されているか。 何を入れるための『バッグ』かが明確にされているか。

11. 表彰 文部科学大臣賞 厚生労働大臣賞 特許庁長官賞  
 公益財団法人つくば科学万博記念財団理事長賞 全日本中学校技術・家庭科研究会長賞  
 日本家庭科教育学会会長賞 女子栄養大学学長賞  
 (社)日本家政学会被服構成学部長賞 全国家庭科教育協会会長賞

12. 審査員

4人

- ※審査員長は、日本家政学会被服構成学部長から代表者。  
 審査員のうち2人は、山梨県および長野県から指導主事もしくは管理職。  
 残りの審査員1人については検討中。

13. その他

- (1) 大会期間中の負傷、疾病については応急処置のみ行う。
- (2) 参加生徒の学校名、氏名、作品をWebページなどに掲載する予定。
- (3) 入賞作品はつくば市、文部科学省などに展示する予定。
- (4) ホームページアドレス（全日本中学校技術・家庭科研究会） <http://www.ajgika.ne.jp>

14. 参加申し込み方法

- (1) 申込期限 平成30年11月31日（金）
- (2) 申込先 下記連絡先 甲州市立勝沼中学校 内田 瑛一郎
- (3) 申し込み方法
  - ①参加応募書 1部（全日中Webページより） 郵送
  - ②出場生徒紹介文 1部（全日中Webページより） 電子メールに添付
  - ③製作レポート 8部（全日中Webページより） 郵送
  - ④大会運営必要事項等記入用紙 1部（全日中Webページより） 郵送か電子メールに添付
    - \*①については、保護者、所属学校長の承諾が必要。
    - \*②については、生徒の顔写真は電子データでメールに添付して提出する。
    - \*③については、「9. 競技の課題および課題製作上の注意点について」にあるように、必ず生徒本人の手書きにて作成し、8部カラーコピーして提出する。

※上記①～④の書類すべて、11月31日（金）必着とする。  
 なお、上記①～④の書式は、後日 Web ページにアップし、ダウンロード可能とする。

15. 競技大会で使用する用具について

作業工程	生徒が持参する物	会場に準備されている物
裁 断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布</li> <li>・裁断ばさみ</li> <li>・待ち針</li> <li>・型紙</li> <li>・ピンクッション（針山）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイロン台×8台</li> <li>・アイロン×8台</li> <li>※ワット数の関係で、スチームアイロンは利用できない。普通の電気アイロンを使用。</li> <li>・ものさし50cm×16本</li> <li>・霧吹き×8本</li> </ul>
しるし付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布用複写紙（チャコペーパー）</li> <li>・ルレット</li> </ul>	
縫 製	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糸切りばさみ</li> <li>・手縫い針</li> <li>・しつけ糸</li> <li>・ミシン糸</li> <li>・待ち針</li> <li>・ゴムテープ等ウエスト部分に必要なもの</li> <li>・手縫い糸</li> <li>・ゴム通し</li> <li>・ミシン針</li> <li>・ミシン操作練習の布（ハギレ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジグザグミシン×16台 十予備</li> <li>・2本糸用ロックミシン×8台</li> <li>・ロックミシン（白・黒）</li> <li>・ボビン30個</li> <li>・延長コード×40本</li> <li>・コードリール15本</li> <li>・ミシン針14番</li> <li>・ファスナー押さえ</li> </ul>
後 始 末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミを入れる袋</li> </ul>	
発 表 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作したバッグに入れるもの</li> </ul>	
ミ シ ン		ミシン機種（事前に選択する） 機種は後日連絡する（蛇の目・ブラザー） ロックミシン

◎本競技に関わる諸連絡、質問等の連絡先

第19回全国中学生創造ものづくり教育フェア  
 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール 事務局  
 甲州市立勝沼中学校 教諭 内田 瑛一郎  
 〒409-1316 山梨県甲州市勝沼町勝沼761-1  
 TEL 0553-44-0152 FAX 0553-44-3665  
 e-mail uchida-ei@koshu.ed.jp